

協会からのご案内

- 1 協会だより
- 2 当協会発行・編集出版物
- 3 当協会の国際連携のご紹介

1 協会だより

1. お知らせ：第82回運営委員会／第519回理事会
2. トピックス：CIIA（国際公認投資アナリスト）2023年3月試験の実施／ディスクロージャー優良企業選定要領の決定／シニア・プライベートバンカー（PB）筆記試験（2022年秋）の結果／「ESG投資に関する海外機関の学習プログラム情報」のウェブページ開設／CFA協会・日本CFA協会の来訪／「地区交流会」の活動状況／GIPSセミナー「グローバル投資パフォーマンス基準を巡る最新動向」の開催／講演会の動画／講演要旨
3. 委員・会員の異動

1. お知らせ

▶第82回運営委員会を開催しました

3月2日（木）に第82回運営委員会が開催されました。2023年度事業計画書について意見交換が行われました。

▶第519回理事会を開催しました

3月16日（木）に第519回理事会が開催されました。2023年度事業計画書、収支予算、資金調達及び設備投資の見込みについて決議され、2023年度事業計画書等を原案通り行政庁（内閣府）へ提出すること及び第51回定時総会に報告することが了承されました。

詳細は、協会ホームページ>マイページ>会員限定>理事会・総会議案をご覧ください。

2. トピックス

▶CIIA（国際公認投資アナリスト）2023年3月試験を実施しました

CMA（日本証券アナリスト協会認定アナリスト）を対象としたCIIA試験を、新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で、3月10日（フランクフルト会場）と3月11日（東京、大阪、香港の3会場）に実施し、延べ124名が受験しました。合格発表は5月末頃の予定です。

▶ディスクロージャー優良企業選定要領を決定しました

当協会ディスクロージャー研究会（座長 許斐潤氏）は、2023年度の「証券アナリストによるディスクロージャー優良企業選定（第29回）」について、次の要領で実施することとしました。2023年度の評価については、2023年3月期決算以降に義務化される人的資本に関する開示など、主に、大項目「4.ESGに関連する情報の開示」に関して検討し、評価項目・配点を確定しました。

2023年度の評価対象業種は、17業種（対象企業296社。機械は休止）となります。

また、2005年度から評価対象としている、新興市場銘柄及び個人投資家向け情報提供における優良企業選定も継続して実施することとしています。

同研究会では、今回も各対象業種等に精通した証券アナリストの方々の積極的なご協力を期待しています（2022年度のスコアシート記入アナリスト延べ593名）。

○ディスクロージャー優良企業選定

業種	対象企業数	評価項目数	業種	対象企業数	評価項目数
建設・住宅・不動産	18	11	運輸	18	15
食品	23	13	通信・インターネット	16	15
化学・繊維	21	15	商社	7	12
トイレットリー・化粧品	9	16	小売業	23	18
医薬品	21	10	銀行	13	22
鉄鋼・非鉄金属	14	13	保険・証券・その他金融	9	21
電気・精密機器	24	14	ITサービス・ソフトウェア	13	10
自動車・同部品・タイヤ	21	8	広告・メディア・エンタテインメント	24	11
エネルギー	22	12	新興市場銘柄	30	13

○個人投資家向け情報提供における優良企業選定については、上記の業種別等18部門のそれぞれの評価結果上位1割の企業のうち、2022年7月から2023年6月までの1年間に、「個人投資家向け会社説明会」を開催した企業を「評価対象企業」（2022年度は30社）として、評価を実施します。

○評価・選定作業の実施日程

- ・評価対象企業宛て評価項目及び配点一覧等の送付・・・・・・・・・・ 3月上旬
- ・スコアシート記入アナリストの資格照会調査・・・・・・・・・・ 4月上旬～4月末頃まで
- ・記入アナリストへのスコアシートの発送・・・・・・・・・・ 5月下旬
- ・スコアシートの回収・・・・・・・・・・ 7月上旬まで
- ・スコアシートの集計・・・・・・・・・・ 7月中旬～8月上旬
- ・各専門部会による選定結果の取りまとめ・・・・・・・・・・ 8月中旬～9月中旬
- ・ディスクロージャー研究会における最終決定・・・・・・・・・・ 9月下旬

- ・ディスクロージャー優良企業選定結果公表・・・・・・・・・・・・ 10月上旬
- ・アナリスト大会における表彰企業の紹介・・・・・・・・・・・・ 10月上旬
- ・評価・選定結果の各企業へのフィードバック・・・・・・・・・・・・ 10月中旬～12月頃

▶シニア・プライベートバンカー（PB）筆記試験（2022年秋）の結果について

シニア・プライベートバンカー（シニアPB<上級レベル>）資格の筆記試験（投資政策書の作成、2022年秋試験）に関し、PB資格試験委員会（委員長：新井 富雄 東京大学 名誉教授）の審議を経て、合格者を決定しました。

シニアPB筆記試験（2022年秋）の受験者74名のうち合格者は18名、合格率は24.3%となり、合格者18名にはシニアPB資格が付与されました。この結果、シニアPB資格認定者は、累計で290名となりました。

詳細は、当協会ホームページ>「プライベートバンカー（PB）資格」>「新着情報」をご覧ください。

▶「ESG投資に関する海外機関の学習プログラム情報」のウェブページを開設しました

標題ページでは、ESG投資について知識を深めたい方々の参考となるよう、次のプログラムを紹介しております。

- ・PRIアカデミーの各種コース
- ・CFA協会の“Certificate in ESG Investing”プログラム

PRIアカデミーの各種コースについて、CMA資格保有者は、15%の割引価格で受講できます（英語版のみ）。申込の際の割引適用は、当協会がCMAの皆さまに送付する電子メールをご確認ください。

CFA協会の“Certificate in ESG Investing”プログラムについては、ブラウザ上で、ブラウザの自動翻訳機能により、英語テキストを日本語に自動翻訳することも可能です（動作および翻訳の正確性を保証するものではありません）。

「ESG投資に関する海外機関の学習プログラム情報」のウェブページは、下記ボタンからご覧ください。今後、掲載情報を順次増やす計画です。

「ウェブページ」はこちらから ▶



▶CFA協会・日本CFA協会が来訪されました

2月16日（木）、CFA協会のPaul Moody氏（Managing Director）およびBrenda Hou氏（Senior Director）、ならびに、日本CFA協会の出川昌人氏（会長）、松田あきみ氏（副会長）、今村文彦氏（執行理事）および岡田晃氏（理事）が、当協会へ来訪されました。

両協会の協力関係を確認し、今後の連携の可能性などについて幅広く意見交換を行いました。



▶「地区交流会」活動状況について

○大阪シンポジウム（関西地区交流会創設10周年記念）

- ・開催日時：2023年2月15日（水）17:30～19:10
- ・テーマ：「関西経済の現状と展望～激変する世界情勢を展望して」
- ・＜パネリスト＞50音順：
 - 伊吹 英明氏 経済産業省 近畿経済産業局長
 - 岩元 達弘氏 財務省 近畿財務局長
 - 高口 博英氏 CMA 日本銀行理事 大阪支店長

＜モデレーター＞：

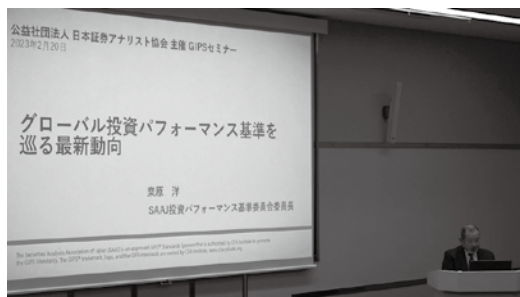
若林 厚仁氏 日本総合研究所 調査部 関西経済研究センター長

・参加者：76名

関西地区交流会は創設10周年を迎えました。シンポジウムは待望の会場開催となり、懇親会でも当協会会員をはじめ多くの方々が親交を深めました。

▶GIPSセミナー「グローバル投資パフォーマンス基準を巡る最新動向」を開催しました（2月20日）

GIPSセミナー「グローバル投資パフォーマンス基準を巡る最新動向」を会場開催しました。講師の栗原洋氏（ウロボロス・パフォーマンス・コンサルティング代表、当協会投資パフォーマンス基準委員会委員長）に、26th Annual GIPS® Standards Conference（2022年10月25～26日 CFA協会主催）から、日本市場で参考となる内容を、二つのセッション「GIPS基準に関するアップデート」および「GIPS基準とESG基準とのコネクティビティ／OCIOを巡る課題」で紹介していただきました。



◆検定会員、個人賛助会員、一般会員、法人・法人賛助会員の役職員の方およびPB資格保有者は、下記のボタンから視聴できます。

「動画」はこちらから >



▶講演会の動画を協会ウェブサイトに掲載しました

①「ウクライナ戦争勃発後の中東情勢とエネルギー事情」（2月21日開催）

講師：田中浩一郎氏（慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科 教授）

②<米国政治シリーズ第1回>

「バイデン政権3年目の展望と大統領選挙」（3月3日開催）

講師：渡辺靖氏（慶應義塾大学 教授）

◆検定会員、個人賛助会員、一般会員、法人・法人賛助会員の役職員の方およびPB資格保有者は、下記ボタンから視聴できます。

「動画」はこちらから >



▶講演要旨を協会ウェブサイトに掲載しました

①「ウクライナ戦争勃発後の中東情勢とエネルギー事情」（2月21日開催）

講師：田中浩一郎氏（慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科 教授）

②<米国政治シリーズ第1回>

「バイデン政権3年目の展望と大統領選挙」（3月3日開催）

講師：渡辺靖氏（慶應義塾大学 教授）

◆検定会員、個人賛助会員、一般会員および法人・法人賛助会員の役職員の方は、下記ボタンから無料で閲覧・ダウンロードできます。非会員の方も有料で閲覧・ダウンロードできます。

「要旨」はこちらから >



3. 委員・会員の異動（敬称略）

▶委員の異動

○試験管理委員会

（3月31日）

退任 増井 喜一郎 日本証券経済研究所

（4月1日）

就任 川嶋 真 信託協会 CMA

○第38回日本証券アナリスト大会実行委員会（4月1日）

退任 佐藤 裕亮 第一生命保険

就任 藤田 ゆり子 第一生命保険 CMA

○ディスクロージャー研究会

・専門部会（2月22日）

（エネルギー）

退任 松本 繁季 野村證券 CMA

就任 神近 広二 SMBC日興証券 CMA

（運輸）

退任 鈴木 克彦 みずほ証券 CMA

就任 松崎 亘 JPモルガン・アセット・マネジメント

▶ 会員の異動

○ 新入会者（2023年2月中、五十音順、勤務先は同意のあった方のみ掲載）

検定会員

間場 紗壽		佐々木 航	野村証券株式会社
牛崎 裕紀	日本生命保険相互会社	高木 悠	大和証券株式会社
大野 裕		長尾 衛	
小野 志子	SAS Institute Japan Ltd.	野中 奏志	BNPパリバ証券株式会社
小原 萌香	SMBC日興証券株式会社	場地 大希	SMBC日興証券株式会社
川井 秀幸		馬場 猛	岡三証券株式会社
神田 美奈		東谷 順也	
岸 平祐		福岡 浩人	大和証券株式会社
北村 彩美	野村証券株式会社	松島 達衡	
木田 聡子	野村アセットマネジメント株式会社	三木田 尚	株式会社北海道銀行
木田 文彦		箕浦 大輝	みずほ証券株式会社
木下 論		村上 陽介	東京ガス株式会社
清河 徳宇		横田 倫乙	

○ 退会・会員資格喪失（2023年2月中、五十音順、同姓同名の場合は会員番号も記載）

1. 定款第12条第1項第1号による退会・会員資格喪失

< 会費完納者 >

検定会員	甘利 和憲 飯塚 寿枝 今村 武 岩瀬 幹雄 大澤 康太 大城 直人 大竹 亮 大藤 修義 大沼 聡仁 大野 光一 大前 恵一郎 寛 登起子 加藤 隆秀 金沢 泰源	金見 豊和 北 智孝 木村 明男 指田 光章 佐藤 俊介 澤田 明歩 四宮 洋史 園田 柁平 竹村 滋芳 田中 敦 辻 雅雄 徳重 亨 中野 成彦 中村 和徳	長島 祐太 野田 幸男 能登 秀晴 波多野 孝明 原田 知幸 日江井 利彦 平林 晃一 平山 進亮 廣田 昌男 深谷 雄司 福永 瑞 藤井 仁 藤崎 完治 藤田 敏之	藤田 秀明 古川 誠志 古橋 智保 真鍋 有造 三島 洋一 三矢島 淳 森 和之 森田 晃次 安田 和宏 山本 篤 15112 山本 慶子 山本 信一 吉本 勝
一般会員	廣田 純一			

< 上記以外 >

検定会員	石井 伸明 瓜田 まゆみ	大森 信一郎 長田 浩一	柄澤 祐子 桐野 俊哉	黒子 貴史
------	-----------------	-----------------	----------------	-------

2. 定款第12条第1項第3号による退会・会員資格喪失

検定会員	芹澤 久美子	山口 信治
------	--------	-------

○ 会員状況（2023年2月28日現在）

個人会員	（検定会員）	（一般会員）	法人会員	賛助会員	（法人賛助会員）	（個人賛助会員）	合計
28,666	(28,599)	(67)	196	148	(122)	(26)	29,010

訂正のお知らせ

本誌2023年2月号、3月号に下記の誤りがありましたので、お詫びし訂正いたします。

〔2023年2月号、3月号裏表紙のお名前誤記〕

【誤】吉野貴昌 【正】吉野貴晶

個人会員の皆さまへ

マイページをぜひご活用ください!!

まだマイページを取得されていない検定会員・一般会員の方は、以下の方法で手続きしてください。

■マイページの取得方法

協会ホームページ (<https://www.saa.or.jp/>) の「会員手続きについて」または「会員手続関連」の「会員の各種手続き」⇒「マイページ取得手続き」から

■マイページ取得者限定のメリット（24時間利用可能）

- (1)証券アナリストジャーナル電子ブック閲覧、論文ダウンロード、多機能型検索システム利用（無料）
- (2)講演会・セミナー等の要旨ダウンロード（無料）
- (3)講演会・セミナー等の動画配信閲覧（会員割引価格）
- (4)IRミーティング、講演会・セミナーの簡易申込が可能（連絡先等が入力不要）
- (5)年会費のクレジットカード支払や入金確認メールの受信、入金状況の確認が可能
- (6)インターネット上でご自身の登録状況が確認でき、住所変更や同意情報の変更が可能
- (7)継続学習のクレジット登録が可能

<照会先> 会員担当 E-mail : member@saa.or.jp